

『国際経営論集』投稿規定

1. 投稿資格者

本誌への投稿資格者は、つぎの各番号のいずれかに該当する者に限る。

- (1) 本学部専任教員および特任教員
- (2) 本学部非常勤教員
- (3) 神奈川大学大学院経営学研究科博士後期課程に在籍する者または修了した者で、本学部専任の指導教員等との共同執筆になる論文を提出する者
- (4) その他『国際経営論集』編集委員会（以下、編集委員会と略記）が認めた者

2. 論文等の種類

投稿原稿は原則として未発表のものに限る。その種類はつぎの各番号のいずれかとする。

- (1) 研究論文
- (2) 研究ノート
- (3) 資料紹介
- (4) 書評および文献解題
- (5) 翻訳
- (6) その他

3. 投稿原稿の編集

投稿原稿の採録については本規定にもとづき編集委員会が決定する。また編集委員会が必要と認めた場合、投稿された原稿の形式について投稿者に修正を求めることができるものとする。

4. 発行回数

年2回とする。ただし、投稿数が少ない際は編集委員会の判断により発行回数を変更しうる。

5. 論文等の枚数

以下の各文字数を原則とする。ただし、枚数に過不足のある場合は規定の文字数内に収まるよう編集委員会が改稿を求めることができる。

- (1) 研究論文
和文の場合は400字詰め原稿用紙換算で30枚(12,000文字)以上80枚(32,000文字)以下、
欧文等の場合は4,000words以上16,000words以下を研究論文の目安とする。
- (2) 研究ノート
400字詰め原稿用紙換算で50枚(20,000文字)以下とする。
- (3) その他
第2項の(3)～(6)の枚数については研究ノートに準じるものとする。

6. 研究論文等の投稿

(1) 原稿の書式

投稿原稿はMicrosoft Wordによる横書き原稿を原則とし、その書式はA4判1枚当たり1行40文字×30行、計1,200文字とする。欧文等の場合はsingle spaceとする。

- (2) 図表、写真等は、1図表または1枚を400文字と換算して規定の原稿枚数に含める。
- (3) 投稿原稿は完全原稿とし、投稿の際にはプリントアウトした原稿（A4判）1部および原稿を入力した電子データを編集委員会の定める方法で提出する。
- (4) 投稿者本人による校正作業は3回までとする。
- (5) 抜刷りは原稿1編につき50部までを無料とし、それを超える部数については投稿者の実費負担とする。

7. 著作権の帰属

『国際経営論集』に掲載された研究論文などの著作権は、著作者に属する。但し、著作者は掲載論文等がそのままの形で電子媒体により複製され、web上に公開されることを許諾したものとす。

附則 2008年5月1日より本投稿規定を施行する。

附則 2013年5月1日より本投稿規定を施行する。

附則 2019年7月10日より本投稿規定を施行する。

附則 2023年6月14日より本投稿規定を施行する。